

前回の会議でご提案いただいた  
内容に修正いたしました。  
再度ご検討いただきますようお願い  
いたします。

# I 基本理念及び基本方針（素案）

## □ 基本理念

本市には長い歴史の中で培われてきた文化的土壌があり、広範で創造性に富んだ芸術文化活動が市民各層にわたって行われている。また、郷土を愛する誇り高い地域文化に根ざした様々な学習活動・交流活動も活発である。

未来を担う子どもたちの育成と

文化会館は、こうした活動を支え、舞台芸術を中心とした芸術文化活動をさ

多様な市民の

らに促進し、新たな文化都市を創造する現代的機能を備えた中核施設としての

、新市のシンボルとなる

役割を担うとともに、市民が集い、交流するまちづくりの拠点としても位置づけることを目指す。

、未来につなぐ芸術文化の殿堂



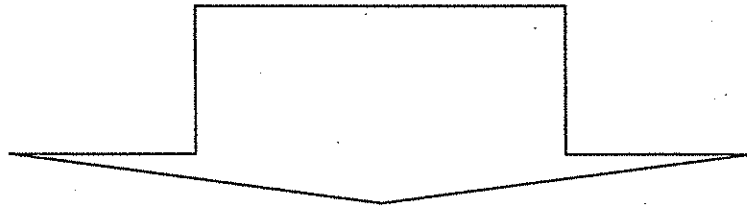
本市には、長い歴史の中で培われてきた文化的土壌があり、広範で創造性に富んだ芸術文化活動が市民各層にわたって行われている。また、郷土を愛する誇り高い地域文化に根ざした様々な学習活動・交流活動も活発である。

文化会館は、こうした活動を支え、未来を担う子どもたちの育成と舞台芸術を中心とした多様な市民の文化活動をさらに促進し、新たな文化都市を創造する現代的機能を備えた、新市のシンボルとなる中核施設としての役割を担うとともに、市民が集い、交流するまちづくりの拠点としても位置づけ、未来につなぐ芸術文化の殿堂を目指す。

前回の会議でご指摘いただいたので、修正をいたしました。  
再度ご検討いただきますようお願いいたします。

□ 整備の基本方針

- (1) 市民の芸術・文化性を高めるため、内外の優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供すると共に、市民の活発な芸術文化活動を支援する地域の文化拠点として整備する。
- (2) 市民の多様な交流や地域文化を支える活動を促進し、周辺の文教施設と連携した文化都心の中心市街地に賑わいをもたらす交流拠点として整備する。



- (1) 市民の活発な芸術文化活動を支援し、未来を担う子どもたちを育てる、地域の文化創造拠点として整備する。
- (2) 市民の芸術・文化性を高めるため、内外の優れた舞台芸術等を鑑賞できる、芸術文化の拠点として整備する。
- (3) 市民の多様な交流や地域文化を支える活動を促進し、周辺の文教施設と連携した文化都心の中心市街地に賑わいをもたらす交流拠点として整備する。

前回までの会議に提案していますが、項目ごとの内容について、事務局素案を加えたものです。

項目も含めて、再度ご検討いただき、ご提案をお願いしたいと考えております。

□ 目指す施設の方向性（事務局素案）

- (1) 音楽・舞台芸術をはじめ多様な市民の文化活動に対応する施設
  - ・ 響きが良く、様々な音楽、舞台芸術、講演会等に対応するホール
  - ・ 多様な舞台芸術に対応する十分な広さと設備のある舞台 など
- (2) 児童生徒をはじめとする、全ての世代の芸術文化活動の成果発表を支え創造活動を支援する施設
  - ・ 音楽、演劇、舞踊等の活動発表に対応するホール・舞台
  - ・ リハーサル室や練習室、楽屋、その他諸室の整備 など
- (3) 利用者にとって快適な設備・空間を備える施設
  - ・ 快適なホール座席シート
  - ・ ゆったりしたエントランスホール、ホワイエ など
- (4) ユニバーサルデザインに配慮した、誰もが利用しやすい施設
  - ・ バリアフリー、ユニバーサルデザインの施設設備
  - ・ 障がい者が安心して利用できる施設 など
- (5) 環境に配慮した、地域資源を活用する施設
  - ・ 省エネへの配慮、自然エネルギーの活用
  - ・ 地場産木材の活用 など
- (6) 維持管理に係る経費を抑えた施設
  - ・ コンパクトで維持管理が容易
  - ・ ランニングコストの低減に配慮 など
- (7) 周辺の文教施設との機能的な連携や都市景観に配慮する施設
  - ・ 致道館、アートフォーラム等周辺施設との関係
  - ・ 歴史的建造物やまち並み景観等への配慮 など
- (8) 市民参加・協力型の運営を目指す施設
  - ・ 利用団体等の運営への協力
  - ・ 事業企画等への市民参加協力 など

## Ⅱ 施設整備方針（事務局素案）

前回までの会議に提案していますが、項目ごとの内容について、事務局素案を加えたものです。

項目も含めて、再度ご検討いただき、ご提案をお願いしたいと考えております。

### □ 施設機能（求められる機能）

#### （1）活発な芸術文化活動を支え、創造と発信の場を提供する機能

舞台芸術の活動に必要な機能を備え、練習や公演など創造と発信の場を提供することにより、市民主体の芸術文化を一層促進する。

#### （2）内外の優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供する機能

音楽、演劇、舞踊などの優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供することにより、感動や生きる喜びをもたらす。

#### （3）人々が集い多様な文化・交流活動を行うまちづくりの拠点としての機能

様々な集会や行事、イベント等の開催の場を提供し、地域の文化活動を支援するとともに、地域の様々な文化、芸術活動が集積し、文化都心に多くの人が集い、交流するまちの賑わいを生み出す。

■舞台芸術活動の現状・課題

- 文化会館の施設と課題
  - ・ホール席数(1,247席)、舞台(間口18m 奥行9m 高7m)、楽屋(3室)、会議室(1室)
  - ・客席シートが狭く、経年劣化等が著しい
  - ・舞台が狭い(特に真行き)、舞台機材・設備の陳腐化
  - ・楽屋、練習室、リハーサル室が不足、エントランスホールが狭い
- 利用状況
  - ・年間利用件数267件のうち学校関係の利用が139件52%と半数を占める。
  - ・分野別では、クラシック音楽が183件59%(器楽30%、声楽29%)、演劇は30件11%
  - ・年間催し物件数91件のうち入場者数が1,000人を越える件数は15件(うち1,200人超4件)
- 舞台芸術活動の状況
  - ・鶴岡市芸術文化協会に加盟する舞台関係団体は38団体あり、芸術祭期間中(9月～11月)文化会館で例年15団体ほどが公演を行っている。(日程調整に苦慮)
  - ・合唱と吹奏楽が盛んで、合唱分野では、鶴岡市合唱連盟(7団体)、田川地区高校合唱連盟(8団体)、中学校吹奏連盟(5団体)が活動し、全国に誇れる高いレベルを擁している。また、吹奏楽の分野では、田川地区吹奏楽連盟に、田川地区の小学校2団体、中学校13団体、高校7団体、大学1団体、一般7団体の加盟があり、コンクール等活発な活動を展開している。
  - ・演劇の分野では、歴史のある劇団を含め一般4団体、高校演劇部2団体が活動を行っている。また、演劇等の鑑賞団体が3団体あり、定期的な公演を主催している。小学校では毎年低学年を対象に演劇教室を開催している。

■利用者懇談会の主な意見

- ホールについて
  - ・オペラが可能なクラシック系の多目的ホール
  - ・客席数は、1,000～1,500席
  - ・座席は、安心してゆったりできる
  - ・車イス席の設置
  - ・できるだけワンプログラムとするが、2階席3階席を設ける場が必要
- 舞台について
  - ・舞台の規模は、1.8mの正方形
  - ・舞台機能は重視し、必要な設備を配置
  - ・舞台上の幕やパント、照明機器の適正な配置
  - ・舞台備品倉庫やピアノ庫の十分なスペース
  - ・ホール方向性に合わせて観劇時間
  - ・ステージは、現在の張り出し分を含めた広さとし、袖にも十分な広さを確保
- 講堂について
  - ・大きなリハーサル室を舞台の近くに配置する
  - ・小規模から大規模の楽屋を複数配置し、等身大の鏡や吊り棚を設置、水回り設備の充実
  - ・十分な広さのエントランスホールやロビー
  - ・大型トラック2台が入れるトラックヤード
- その他について
  - ・一般用トイレの男女比は、1:2とし、障がい者用トイレも設置する
  - ・パリアフリーやわかりやすい案内表示
  - ・駐車場の利便性の向上、駐輪場の整備
  - ・事業運営へのボランティア導入は十分に検討する
  - ・鶴岡の歴史と風格、市民の誇りとなる会館
  - ・デザインより、安全、シニアブル、使い勝手を優先
  - ・十分な予算の確保、二年半の体積期間は長い
  - ・アータントオナーラムとの一体化

■整備検討委員会の主な意見

- ホールと舞台について
  - ・利用者(市民)が使いやすいホール、次にできればプロも納得するもの、様々な人の交流が図れる施設。
  - ・フロアもある程度納得できる、多目的なホール。(音楽と演劇のパラダンスを上手く取れないか)
  - ・鶴岡の特徴としてクラシック音楽があるが、音響を考えると、クラシック専門より、オペラハウス的な感覚のホールがよい。
  - ・全国水準の公演を呼べるホールがよい。
  - ・大きなホールで、大掛かりな可変装置は多額のコストを要する。(生音楽と演劇系では機能が大きく違う)
  - ・2階席の無いホール。
  - ・舞台性能、音響などに特化した小さなものを積み重ねる構成もありうる。
  - ・一流の公演を招くことができ、また将来にわたって多用に対応できるキャパシティであったらよい。
- 施設運営について
  - ・設備内容、節電対策等の工夫で、ランニングコストを抑える設計を。
  - ・使い勝手が良い運営方法の工夫、経営方式なども議論していきたい。
  - ・導入は非常に少ないだろうが、教育、文化振興という考え方も大切。
- その他について
  - ・スロージョブの工夫等で利用者に負担の少ない形状が良い。
  - ・幅広い市民の交流を図るうえで、ホワイエ、エントランスホール、ロビーからの景観がよいホールを考へたい。
  - ・ホワイエ、ロビーからの景観がよいホールを考へたい。
  - ・リハーサル場所とステージの動線などの使い勝手が良い配置にしたい。

■施設の概要の方向性

□ホールのコンセプト

□基本理念(素案)  
本市には、長い歴史の中で培われてきた文化的土壌があり、広範で創造性に富んだ芸術文化活動が市民各層にわたって行われている。また、郷土を愛する誇り高い地域文化に根ざした様々な学習活動・交流活動も活発である。

文化会館は、こうした活動を支え、未来を担う子どもたちの育成と舞台芸術を中心とした多様な市民の文化活動をさらに促進し、新たな文化都市を創造する現代的機能を備えた、新市のシンボルとなる中核施設としての役割を担うとともに、市民が集い、交流するまちづくりの拠点としても位置づけ、未来につながる芸術文化の殿堂を目指す。

□施設概要

・ホール

・舞台

・楽屋

・リハーサル室

・練習室

・エントランスホール、ホワイエ

・その他

□基本方針(素案)

I 市民の活発な芸術文化活動を支援し、未来を担う子どもたちを育てる、文化創造拠点として整備する。

II 市民の舞台・文化性を高めるため、内外の優れた舞台芸術等を鑑賞できる、芸術文化活動の拠点として整備する。

III 市民の多様な交流や地域文化を支える活動を促進し、周辺の文教施設と連携した文化都市の中心市街地に賑わいをもたらし交流拠点として整備する。

□目指す方向(素案)

①音楽・舞台芸術をはじめ多様な市民の文化活動に対応する施設

②児童生徒をはじめとする、全ての世代の芸術文化活動の成果発表を支え、創造活動を支援する施設

③利用者にとって快適な設備・空間を備える施設

④ユニバーサルデザインに配慮した、誰もが利用しやすい施設

⑤環境に配慮した、地域資源を活用する施設

⑥維持管理に係る経費を抑えた施設

⑦周辺の文教施設との機能的な連携や都市景観に配慮する施設

⑧市民参加・協働型の運営を目指す施設


## 参 考 資 料

ホールの分類と特徴

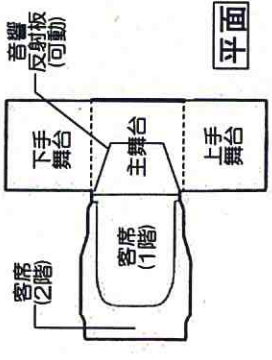
ポリユーム検討

	多目的ホール	演劇専用ホール	音楽専用ホール
<b>用途</b>	演劇、コンサート等を主とする様々な公演やイベントに用いるホール	演劇を主体としたホールであるが、行われる演目同様多種多様	主にクラシック音楽の演奏が催されるホール
<b>演目</b>	演劇ホール、音楽ホールと同じ その他軽音楽、講演など	歌舞伎、文楽、邦舞、新派 現代劇、オペラ、バレエ、バレエ、オペレッタ、ミュージカル	クラシック
<b>特徴</b>	従来の多目的ホールは、公演・演劇・クラシックまで多目的であるために、機能上の矛盾が生じた。 したがって、最近の多目的ホールは、多目的でありながら主演目を絞り込む事が多い	演技者の表情が眺みとれ（最大20m～25m）、肉声がよく通る スムーズな舞台展開が必要（側舞台、後舞台）	生音を聞かせる、響きの良さ（建築音響）
<b>舞台</b>	プロセニアムステージ	プロセニアムステージ、オープンステージ	オープンステージ
<b>客席</b>	扇形、シューボックス型、その他	円形、扇形、その他	シューボックス型、ワインヤード型
<b>舞台設備</b>	演劇専門ホールと音楽専用ホールの舞台設備 電気音響	幕類、バトン、茶落、オーケストラピット、側舞台等	音響反射板

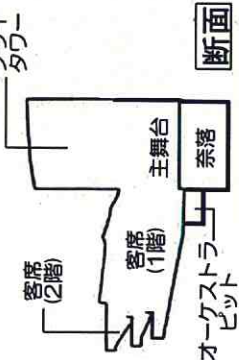
### プロセニアムステージ



プロセニアム 扇形




客席 (2階)  
客席 (1階)  
下手舞台  
主舞台  
上手舞台  
オーケストラピット




客席 (2階)  
客席 (1階)  
茶落

平面 断面

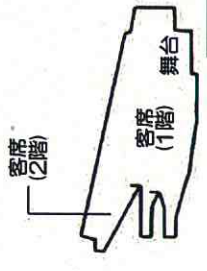
### オープンステージ



オープンステージ シューボックス型



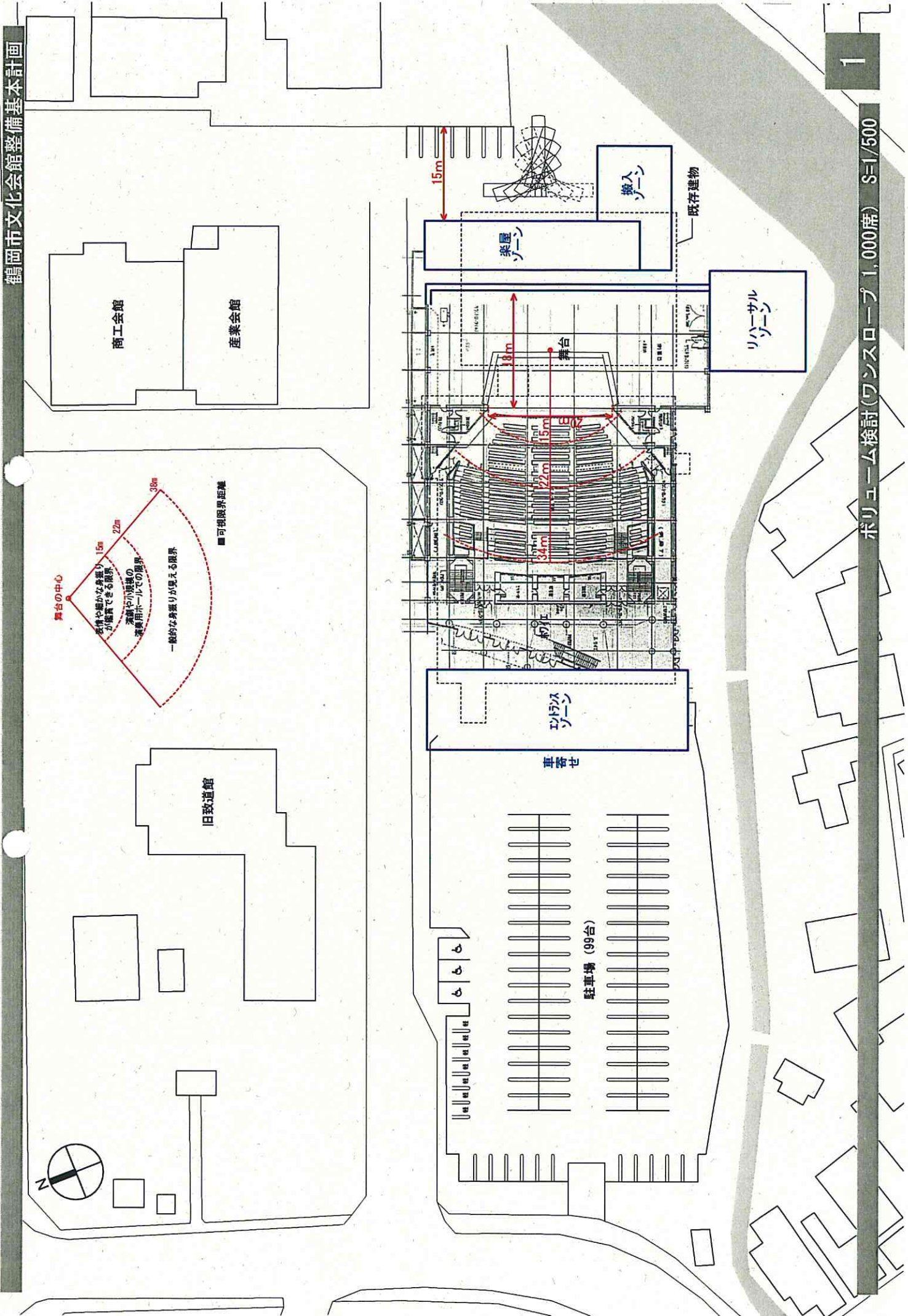
客席 (1階)  
客席 (2階)  
舞台



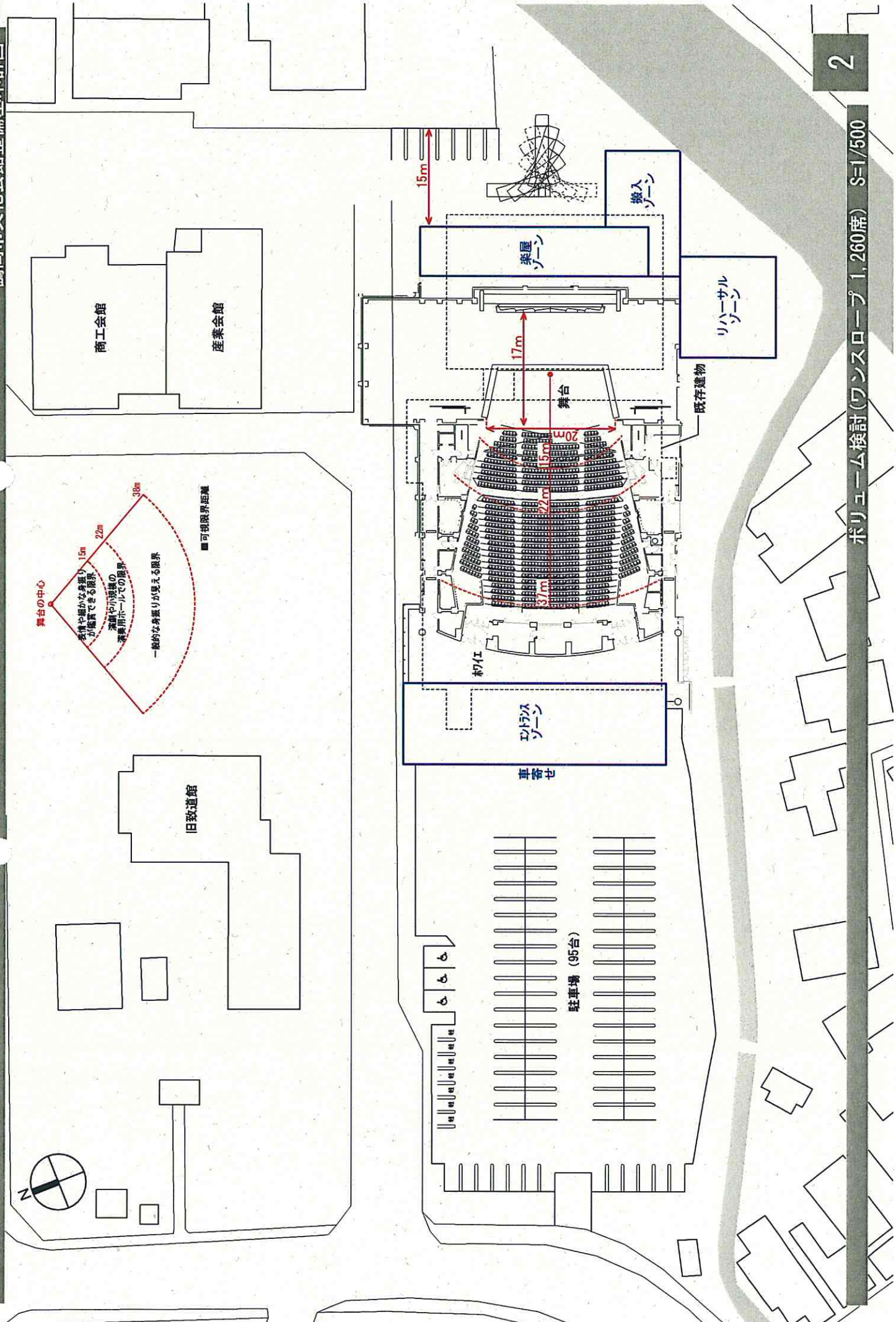
客席 (2階)  
客席 (1階)  
舞台

平面 断面









旧致道館

商工会館

産業会館

ミュージックゾーン

車寄せ

駐車場 (95台)

舞台

初段

既存建物

リハーサルゾーン

楽屋ゾーン

搬入ゾーン

15m

17m

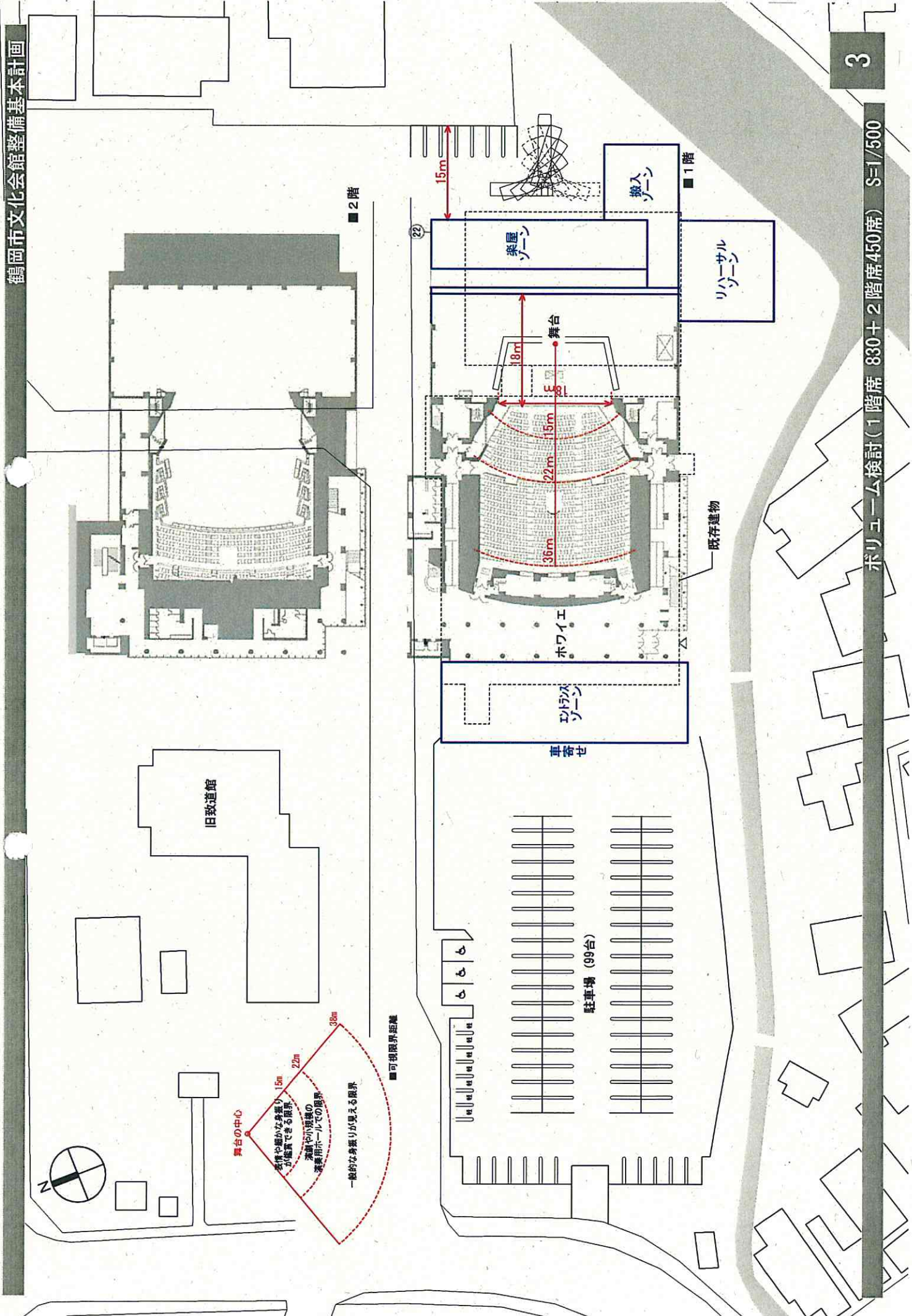
20m

15m

22m

37m





旧致道館

舞台の中心

15m  
22m  
38m  
可視限界距離  
一般的な身振りが見える限界

可視限界距離

搬入ゾーン

楽屋ゾーン

リハーサルゾーン

エンタメゾーン

車寄せ

駐車場 (99台)

バス停

バス停

バス停

バス停

バス停

バス停

バス停

バス停

バス停

ホワイエ

舞台

1階席

2階席

既存建物

15m

18m

22m

36m

22

1階

2階

既存建物

既存建物

既存建物

既存建物

既存建物

既存建物

既存建物

既存建物

既存建物

既存建物

既存建物

既存建物

既存建物

既存建物

既存建物

既存建物

既存建物

既存建物

既存建物

## 平成23年度整備基本計画策定スケジュール（案）

- |            |   |
|------------|---|
| 6月 1日      | 第1回整備検討委員会<br>(委嘱状交付、検討結果報告、今後の進め方、基本的な考え方) |
| 29日        | 第2回整備検討委員会 (視察 酒田市民会館「希望ホール」)               |
| 7月11日      | 利用者懇談会 (芸術文化団体等)                            |
| 19日        | 利用者懇談会 (学校関係)                               |
| 25日        | 第3回整備検討委員会 (基本理念、機能役割)                      |
| 8月 4日      | 利用者懇談会 (青年団体)                               |
| 17日        | 専門委員会 (ホール、舞台設備、音響)                         |
| 29日        | 第4回整備検討委員会 (基本理念、機能役割、施設概要)                 |
| 9月下旬       | 第5回整備検討委員会 (施設概要、管理運営)                      |
| 10月下旬      | 第6回整備検討委員会 (施設概要、管理運営、基本計画 (素案))            |
| 11月下旬      | 第7回整備検討委員会 (基本計画 (素案))                      |
| 12月中旬      | 整備基本計画素案のまとめ                                |
| 12月下旬～1月中旬 | パブリックコメント (素案への意見公募)                        |
| 2月上旬       | 第8回整備検討委員会 (基本計画 (案))                       |
| 3月         | 整備基本計画策定                                    |